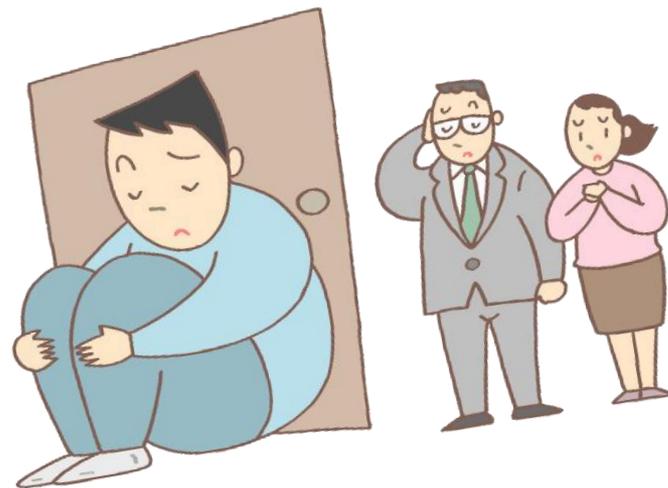


# ひきこもりに寄り添って40年

青少年創生連絡協議会から  
共同生活型自立支援機構へ



# 青少年創生連絡協議会（青創協）

## ・1970年代後半～80年前半

川又直（現共同生活型自立支援機構理事長）が、静岡のフリースクールスタッフとして寮生と共同生活をしていた頃...

戸塚ヨットスクール事件が発生！

不登校支援の在り方に大きな危機感を感じ！

支援方向・地域との繋がり・方法論等納得のいくものを探すため

川又自身の休暇を利用し全国で同様の支援を実施する民間施設を実際に訪問し**各団体を見てまわった。**

その中から同じ方向性の団体同士で情報交換・研修・相互研鑽の機会を設けるため**1984**年に設立！

# 全国を回るキャラバン隊活動

## • 1980年代後半～

多くの支援者のみならず...

著名人や精神科医・教育者・学者等を交え

**全国**で**講演会 & シンポジウム**を実施

参加者や保護者とも交流し、草の根活動として行動してきた。

# 公的な支援として

## • 2000年代

青創協の同志等で、厚労省との意見交換の中...

- 2005年 若者自立塾（2009年度行政刷新会議で廃止）
- 2006年 地域若者サポートステーション事業（現全国175か所）
- 2010年代 生活困窮者支援事業等

等、公的な支援方法が少しずつ整備されてきた。

## 青創協から共同生活型自立支援機構へ

### • 2017年NPO法人化

旧若者自立塾受託団体が一同に集まり

**特定非営利活動法人 共同生活型自立支援機構**

となる

- ・各講演会の開催は継続して現在も行っている
- ・コロナ禍には

**「生活困窮者及びひきこもり支援に関する民間団体活動助成事業」**を受託し、\* **効果検証**も行った。

\* 効果検証は共同生活型自立支援機構のHP参照

## 我々が伝えたい事1

- 一貫して**現場が大事！**と説いてきた
- 生活リズムの改善（日中活動をしっかり行う）
- まず一步を踏み出し行動する大切さ
- 親と距離を取り、自分を見つめていく事の大切さ！ 等々

## 我々が伝えたい事2

- **詐欺団体**や**引き出し屋**と**違う**宣言  
や注意喚起！
- 地元以外(県外)でやり直したい若者の受け皿
- 生活困窮者や生活保護者も支援が受けられるようにする 等々

## 我々が伝えたい事3(支援団体向け)

- 支援団体は**地域に溶け込み、地域との協力**なくして支援は成り立たない！(川又理事長)
- 強制(スパルタ・強引な引き出し等)しなくとも**環境を整える事**が大事
- 自分の所だけで抱え込まない！ (相性も大事)

いつのまにかひきこもり146万！不登校34万に...

- 1995年はひきこもり55万人（15歳～39歳）→現**146万人**（40歳以上を含む65歳まで）
- 不登校数1991年 小中学生 66,817人  
現在2024年 **346,482人**